



カラフル
まつさか まさお
松坂 昌應 議員

有明の森 不正会計問題

Q 不正会計のあたりで、未払い状態の島原の取引業者があるという。市は一定の責任を認めているのだから、分かる範囲の一部だけでも損害賠償に応じてはどうか。

A 現時点では当時の指定管理者の責任で支払われるべきと考える。市への損害賠償請求については、弁護士と相談して精査している。

島原城周歩道の整備

Q 電線地中化とお堀側の歩行空間整備の状況は。道路構造は。

A 今後、島原駅前へ新生病院までの歩道を整備予定。続けて九州電力までを令和6年9月末完成目標。図書館側から歩道2・2メートル、車道3メートル、歩行空間2・4メートルの構造。車道と歩行空間は段差なしたが、歩道と車道を区切る縁石は残る。

Q 縁石は歩行者がつまずく、自転車が逃げ込めないなどかえって危い。縁石は取れないか。

A 時代とともにバリアフリーだとか、ユニバーサルデザインだとかが求められている。かえって危険な個所は基準の中で変更可能。お堀周辺の整備についても社会情勢に合わせながら進めていきたい。

Q 図書館の石垣堀はこの機会に除去しては。

A 石垣堀は図書館建設時のもので、文化財保護の対象ではない。今後はバリアフリーを優先した整備を検討する。

Q 自転車を歩道に誘導できないか。
A 自転車は車道を走るのが原則。

Q 道交法では小学生、高齢者は歩道を自転車で行ける。また、4・5メートルの基準を満たさない歩道も、全自転車通行可とすることができる。既に国道など市内9キロメートルにわたり、この例外措置がなされている。

A 勉強不足だった。島原市でも自転車活用の観光地化を目指しているので、総合的に検討したい。

【その他の質問項目】

- ◇島原城廊下橋の復元
- ◇町内会加入のメリット
- ◇学校統廃合の基本方針



庶民の会
たねむら しげのり
種村 繁徳 議員

教育問題

Q 本市の小・中学生の学力の状況は、全国と比較するとどうか。

A 4月18日に小学校2年生から中学校3年生までを対象に、全国学力・学習状況調査、県学力調査、市学力調査を実施した。8学年のうち全国平均を上回っている学年は、国語で6学年、算数、数学で7学年だった。本市の児童・生徒の学習状況はおおむね良好だと言える。

Q 市内でも第四小学校はかなりレベルが高いというデータが出ているが、要因は何か。

A 第四小学校では、研究発表会に向けて、常日頃から意識して授業に取り組んでいる。いろんな角度、たくさん目の目で子供たちを育てようとする視点から授業研究を行い、その努力が結果につながっていると思うが、第四小学校に限らず、全ての学校で学力向上に取り組んでいる。また、教育委員会もあらゆる角度から指導助言を行い、一緒になって授業づくりに参加している。

Q 小学生の外国語の指導について、学年が上がるにつれて学習内容が高度になるため、苦手な子供も出てきている。楽しく勉強できるように雰囲気づくりが底上げにつながると思うが、どうか。

A 外国語でコミュニケーションを取ることが楽しいという素地を育てることが小学校の役目である。しっかり聞く活動をたっぷり取って表現活動に取り組むことを、具体的に日々積み重ねていくことが一番の近道ではないかと考える。

人口減少対策

Q 土木建築人材育成事業について、市としてどう考えているのか。

A 建設業界における人材育成を図るため、土木建築関係の資格取得者に対して奨励金を支給している。支給対象者は市内在住者で、建築士、土木施工管理技士、管工事施工管理技士などの資格を取得した者に対し、受験料を予算の範囲内で奨励金として支給している。今後も建設業界の人材育成を図るための施策について検討していきたい。

【その他の質問項目】

- ◇企業誘致活動
- ◇市営住宅の跡地